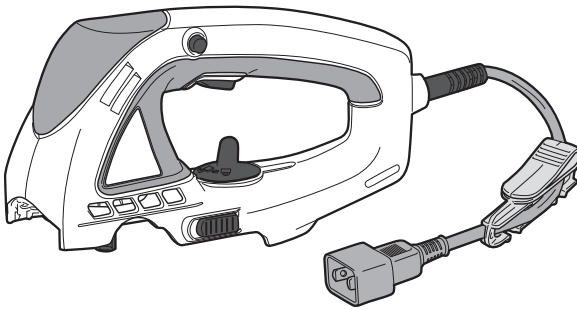


スーパーマルチツール

本体ユニット
SMT-2000

☐ 二重絶縁



※ 本製品は先端ユニットを取付けなければ、ご使用になれません。

※ 別販売品の各種先端ユニットを交換することで、様々な用途に活用できます。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と各先端ユニットの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

取扱説明書

保証書付

もくじ ページ

安全上のご注意	1
スーパーマルチツール ご使用に際して	7
騒音について	9
二重絶縁について	9

各部の名称	10
仕様	10
付属品	11
用途	11
別販売品	12

先端ユニットの取付け、取外し	14
ご使用前の準備	17
作業する場所に関して 漏電しや断器設置のすすめ 延長コードについて 電源コードの接続	

ご使用前の点検	18
先端ユニットの取付け 使用電源 スイッチ 電源プラグの接続 電源コンセント	

スイッチの扱い方	20
ベルトフックストラップの使い方	21
作業方法	21

各部取付けネジの点検	22
使用後の手入れ	22
作業後の保管	22
修理について	22
故障かなと思ったら	23
保証書	26

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。














誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			

警告

作業環境



必ず守る

作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。



禁止

可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。

・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。



禁止

使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。

・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

電気に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。

・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意



必ず守る

パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。

・ 感電するおそれがあります。



感電注意



水ぬれ禁止

電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。

・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



感電注意

安全上のご注意

警告

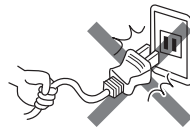
電気に関する安全事項



禁止

電源コードを乱暴に扱わないでください。

- ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。



感電注意



必ず守る

屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。

- ・キャブタイヤケーブルの延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意

作業者に関する安全事項



必ず守る

油断しないで十分注意して作業してください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
- ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
- ・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



禁止



必ず守る

安全保護具を使用してください。

- ・作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。



必ず守る

不意な始動は避けてください。

- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ・スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。

警告

作業者に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。

・材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかり固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



必ず守る

きちんとした服装で作業してください。

・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。



禁止

・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。



必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。



必ず守る

電動工具の使用と手入れ



必ず守る

無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。



禁止

・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。



点検・確認

スイッチに異常がないか点検してください。

・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

安全上のご注意

警告

電動工具の使用と手入れ



電源プラグを抜く

意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・保管、または修理する場合
- ・その他危険が予想される場合



必ず守る

使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。



禁止

- ・不慣れな方のご使用は危険です。



点検・確認

電動工具の保守点検をしてください。

- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、通風口のつまり、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。



よく読む

- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



必ず守る

- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

警告

電動工具の使用と手入れ



必ず守る

先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。



必ず守る

電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

整備



分解禁止

電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。



必ず守る

・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

その他の安全事項



点検・確認

損傷した部品がないか点検してください。

・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

警告

その他の安全事項



必ず守る

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。



必ず守る

材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



禁止

ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・感電のおそれがあります。

スーパーマルチツールご使用に際して

- 先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、スーパーマルチツールをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

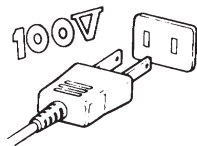
作業の前に



必ず守る

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。



必ず守る

作業する箇所に電線などが無い事を作業前に確認してください。

- ・電線などがあると、工具類が触れ、感電や漏電のおそれがあり、事故の原因になります。



感電注意

警告



必ず守る

使用中は本機を確実に保持してください。
・確実に保持していないと、けがの原因になります。



禁止

使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
・けがの原因になります。



必ず守る

停電などの時は必ず、スイッチを切ってください。
・停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどによりモーターが停止したときは必ずスイッチを切ってください。電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や本機などに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。



禁止

セフティロックボタンを押込んだ状態で、テープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。
・安全機構が働かず、けがの原因になります。



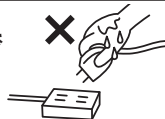
禁止

スイッチを引いた状態で、紐やテープなどを使ってスイッチを固定しないでください。
・けがの原因になります。



禁止

ぬれた手で、さし込みプラグを抜きさししないでください。



禁止

スーパーマルチツール先端ユニット（以下、先端ユニット）を取付けていない状態で電源プラグを電源コンセントに接続しないでください。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。
・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

安全作業のため

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

⚠ 注意

作業の
前に



よく読む

付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・ 確実でないと、外れたり、けがの原因になります。



必ず守る

明るく清潔で、安全な場所で作業してください。
・ 散らかった作業場や作業台での作業はけがの原因になります。

安全
作業の
ため
に



必ず守る

高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。
・ 本体などを落したとき、事故の原因になります。



必ず守る

使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 感電のおそれがあります。



必ず守る

運転させたまま、本機を放置しないでください。
・ けがの原因になります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

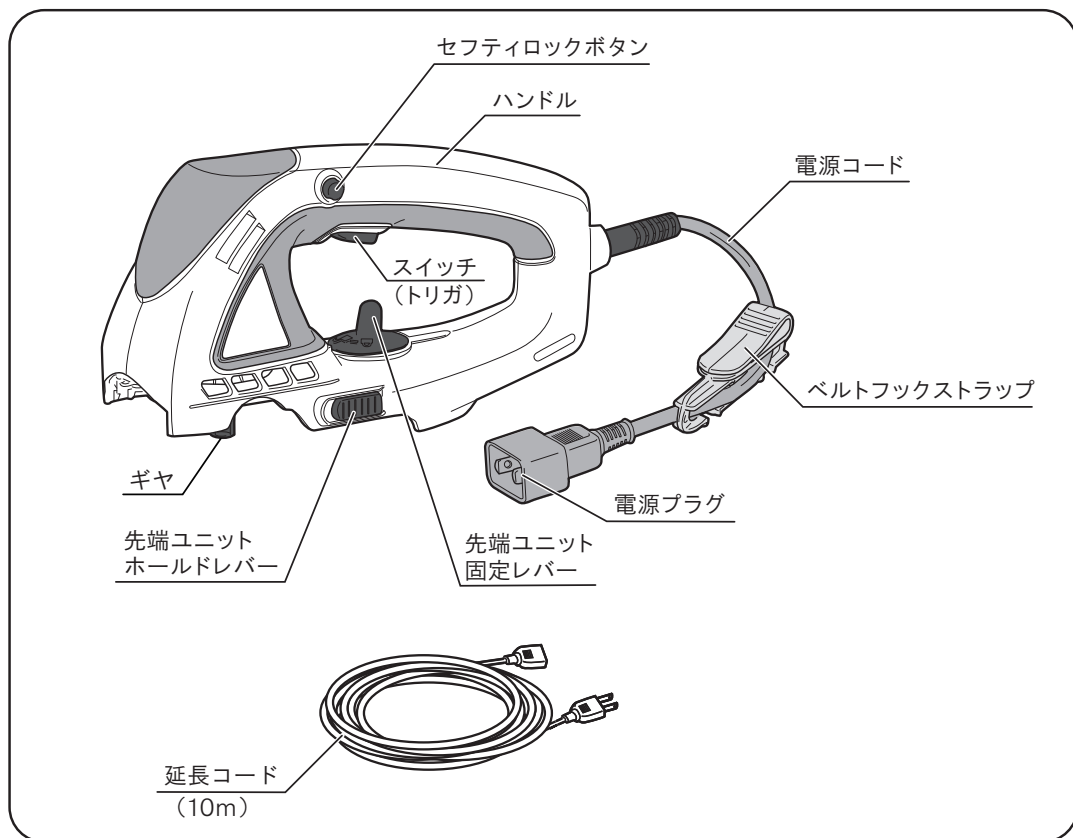
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

主要機能・名称

■各部の名称



■仕様

- ・ 電源 单相・交流 100V 50/60Hz
- ・ 定格電流 2A
- ・ 消費電力 180W
- ・ 本体ユニット寸法 長さ 241 mm
幅 86mm
高さ 131 mm
- ・ コード長さ 0.25 m
- ・ 質量 0.7kg
- ・ 絶縁方式 二重絶縁

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

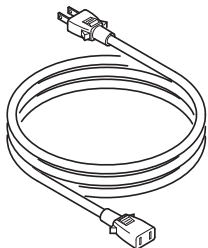
使い方

保守と点検

付属品・用途

■ 付属品

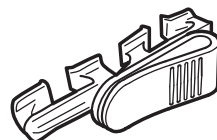
延長コード 10m …… 1



チューブ …… 1
(ギヤ部取付)



ベルトフック
ストラップ (本体取付) …… 1



■ 用途

先端ユニット（別販売品）を組み合わせることで、芝の刈込み、庭木の剪定、生け垣の刈込みなどができます。

※ 本製品は先端ユニット（別販売品）を取付けなければ、ご使用になれません。

別販売品



- ・別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



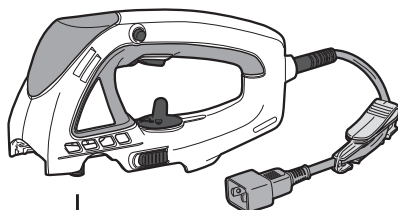
●先端ユニット

※ 取付け可能な先端ユニットについては、同梱してある「スーパーマルチツール先端ユニット」一覧表を参照ください。

※ 先端ユニット用の別販売品は、各先端ユニットの取扱説明書をご確認ください。

※ 各種先端ユニットに交換することで、様々な用途に活用できます。(下図)

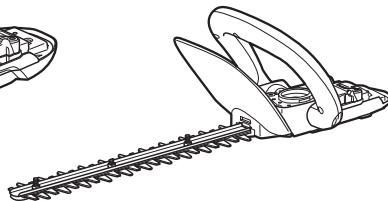
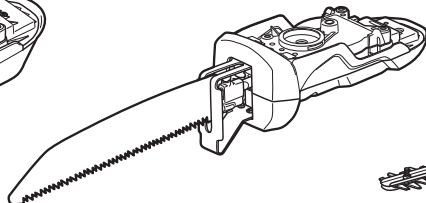
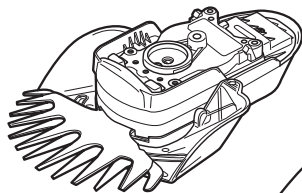
先端ユニット (別販売品)
組み合わせ例



芝の刈込み

庭木の剪定

生け垣の刈込み



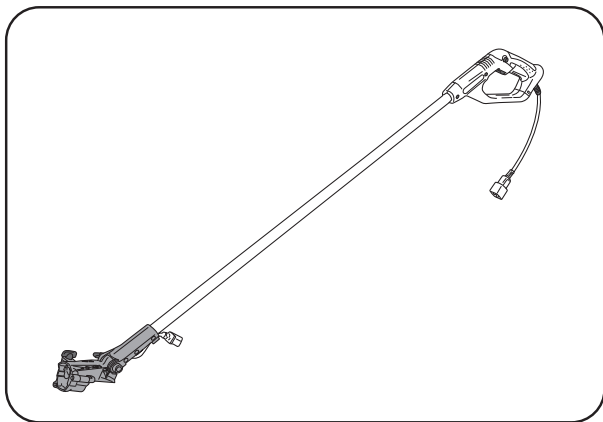
バリカンユニット

のこぎりユニット

ヘッジトリマーユニット

別販売品

●ポール（電気式）



- ・安全に作業できない、また、故障のおそれがあるなど、使用できない先端ユニットがあります。
使用可能な先端ユニットについては、同梱してある「スーパーマルチツール先端ユニット」一覧表でご確認いただき、該当の先端ユニットの取扱説明書をご参照ください。
- ・取付方法については、ポールに同梱してある取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

準備

■先端ユニットの取付け、取外し

警告



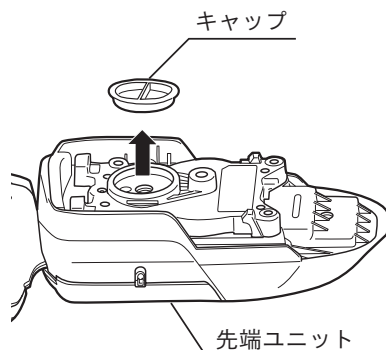
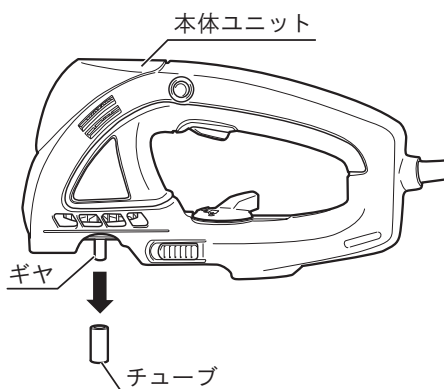
電源プラグ
を抜く



必ず守る

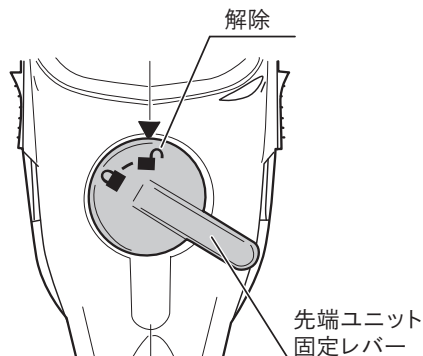
- ・先端ユニットの取付け、取外しのときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・先端ユニットの取付け、取外しのときは、手袋などで手を保護してから行なってください。ギヤの発熱によるやけど、けがの原因になります。
- ・先端ユニットは確実に取付けてください。確実に取付けていないと、脱落によるけがの原因になります。

- ・ゴミやホコリの侵入を防ぐために、スーパーマルチツール本体ユニット（以下、本体ユニット）のギヤ部にチューブ、先端ユニットにキャップを取付けています。使用前に取外してください。（取外したチューブとキャップは保管してください。）



（取付け）

1. 本体ユニットの先端ユニット固定レバーが解除の位置になっていることを確認してください。

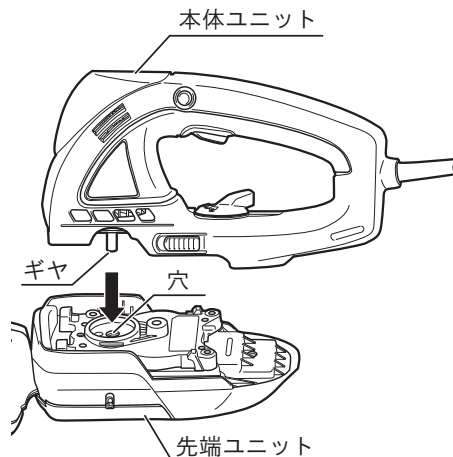


準備

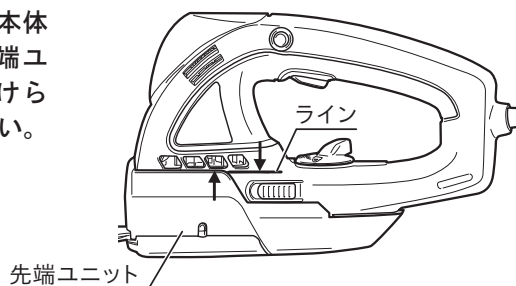
2. 本体ユニットのギヤと先端ユニットの穴を合わせて取付けます。



- ・チューブとキャップを取外していることを確認してください。
- ・上手く取付けられない場合は、手でギヤを少し回してみてください。(手袋などで手を保護してください。)



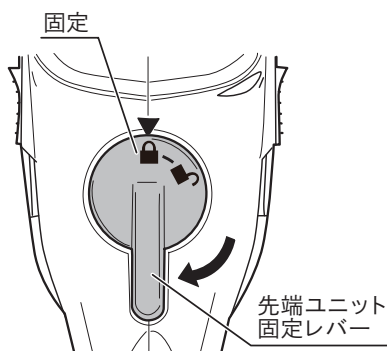
取付けた後、右図の位置にある本体ユニットの溝状のラインと先端ユニットの端面が一致して取付けられていることを確認してください。



3. 先端ユニット固定レバーを固定の位置にしてください。

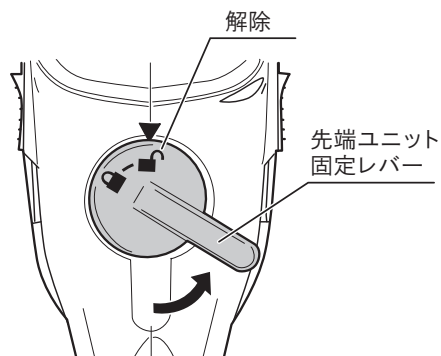


正しく取付けられていないと、先端ユニット固定レバーが固定の位置に動かさせません。

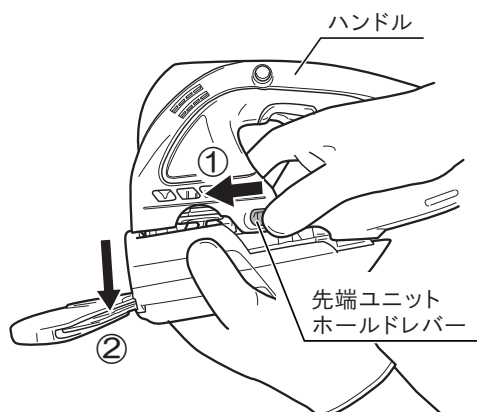


(取外し)

1. 本体ユニットの先端ユニット固定レバーを解除の位置にしてください。



2. 右図のように本体ユニットのハンドル下に手を入れ、両側にある先端ユニットホールドレバーを矢印①の方向にスライドさせながら、先端ユニットを矢印②の方向に取外します。



使用した直後は、本体ユニットのギヤ部や先端ユニットは熱くなっています。手袋などで手を保護し作業してください。



取外して保管する場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐために、本体ユニットのギヤ部にチューブ、先端ユニットにキャップを取付けてください。

準備

■ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・作業場は整頓し、安全な場所で作業してください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて（付属品の延長コードで足りないときに別途用意してください。）

警告



必ず守る

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・付属品の延長コード（10m）では電源からの距離が遠く、長さが足りない場合には別の延長コードを用意してください。

右表「コードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さ」を参考にして、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

コードの太さ	最大の長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m
2.0mm ²	50m

●電源コードの接続

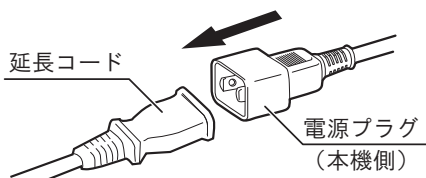
警告



必ず守る

- ・電源プラグ（本機側）を延長コードに接続する前にスイッチが切れていること、延長コードの電源プラグが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・電源プラグを延長コードに接続します。



ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

■ご使用前の点検

警告

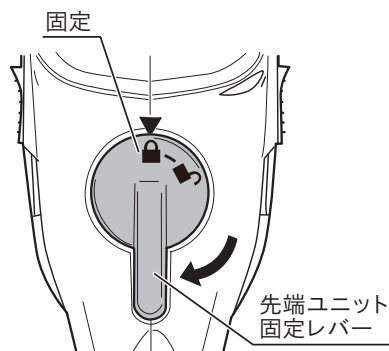


点検・確認

- ・ご使用前に次のことを確認してください。
 - ①～④項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
 - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

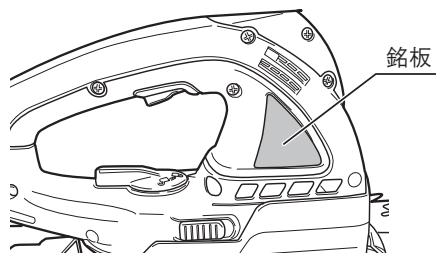
①先端ユニットの取付け

- ・先端ユニット固定レバーが固定の位置であるか確認してください。正しく取付けられていないと、先端ユニット固定レバーが固定の位置に動かさません。



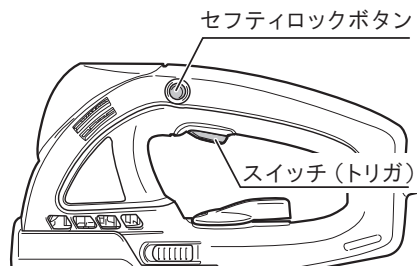
②使用電源

- ・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本機が破損するおそれがあります。



③スイッチ

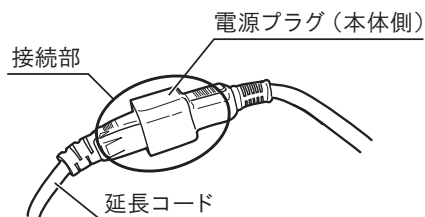
- ・セフティロックボタンが解除され、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、トリガを放すと切れます。トリガを放したとき、トリガが戻ることを必ず確認してください。



準備

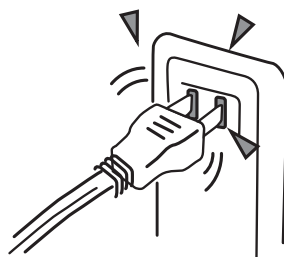
④ 電源プラグの接続

- ・ 接続部が確実にさし込まれていることを確認してください。付属品のベルトフックストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。(21 ページ「■ベルトフックストラップの使い方」参照)



⑤ 電源コンセント

- ・ 電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。



使い方

■スイッチの扱い方

警告



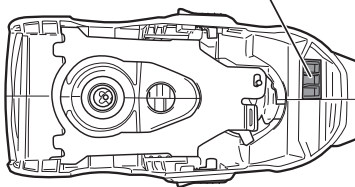
必ず守る



禁止

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速になり、本機が損傷するおそれがあります。
- ・不意な始動は避けてください。本体が作動して、けがのおそれがあります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態でテープなどを使ってセフティロックボタンを固定しないでください。安全機構が働かず、けがの原因になります。
- ・セフティブロックは安全機構のため、意図的に操作しないでください。セフティブロックを押すと、意図せずモーターが回転することがあります。

セフティブロック

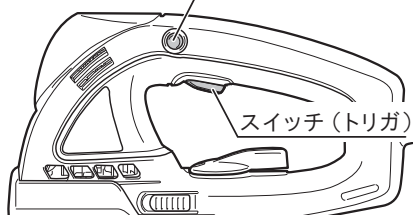


- ・本機は先端ユニット固定レバーを固定の位置にしなければ、スイッチは入りません。
- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・電源プラグを電源コンセントに接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。

- ・スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。切るときは、トリガを放すだけで切れます。

セフティロックボタン

スイッチ(トリガ)

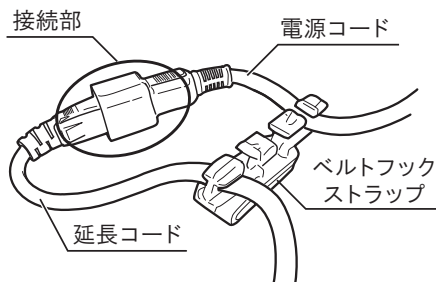


使い方

■ベルトフックストラップの使い方

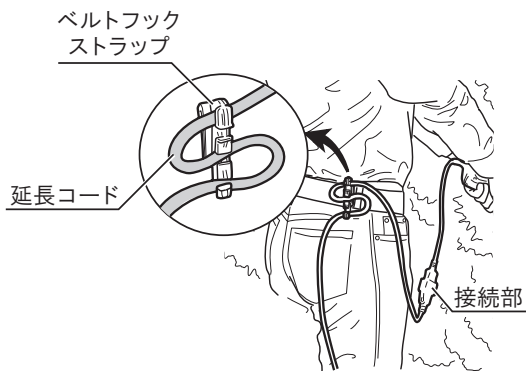
●電源コード、延長コードの接続

- ・電源コード、延長コードを右図のようにベルトフックストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。
- ※市販の延長コードは、太さによってはベルトフックストラップを使用できないことがあります。



●ベルトフックストラップを腰に取付ける

- ・延長コードを右図のようにベルトフックストラップに通し、腰のベルト、ポケットなどに引っ掛けて作業をすると、延長コードがたるむことによる不意なコード切断を防止する効果があります。
- ・ベルトフックストラップを取付ける場合は、接続部が右図の位置にくるように取付けてください。



■作業方法



各先端ユニットにより作業方法が異なります。各先端ユニットの取扱説明書をお読みください。

保守と点検

警告



電源プラグ
を抜く

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。



分解禁止

- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本機をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・先端ユニットから取外して保管する場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐためにギヤ部にチューブを取付けてください。

■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置	参照ページ
先端ユニットの取付けができない	本体ユニットのギヤのかみ合わせが悪くありませんか。	手でギヤを少し回してみてください。	15
先端ユニット固定レバーが固定の位置にできない	取付け位置は正しいですか。	本体ユニットの溝状のラインと先端ユニットの端面を合わせて取付けてください。	15
動かない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。	19
	延長コードが外れていませんか。	延長コードと電源プラグを接続してください。	17
	延長コードが切れたり、断線していませんか。	延長コードを取り替えてみるか他の電気用品で確かめてください。	—
	先端ユニット固定レバーが固定の位置になっていますか。	本体ユニットと先端ユニットを正しい位置に取付けた後、先端ユニット固定レバーを確実に固定の位置にしてください。	15

※ 各先端ユニットの取扱説明書もあわせてご確認ください。

これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

NOTE

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名		SMT-2000	製造番号（本体の銘板をご確認ください）	
お客様	お名前			
	ご住所 〒		電話 ()	
お買い上げ日			保証期間（お買い上げ日より）	
年 月 日			1 年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号			

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用消耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市長久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

